

## 令和 7 年度 学校関係者評価委員会の報告を受けて 次年度（令和 8 年度）に向けた改善方策

### 1 学習指導・進路指導（キャリア教育）について

- (1) 学校関係者評価生徒アンケートの学習に関する項目の肯定的評価はほぼ 90% を超え、生徒にとって有意義な授業が展開されていることが分かる。しかし、生徒アンケート「学ぶことが楽しい」の項目の肯定的評価は 75.8% であり、有意義な授業と学びの楽しさがリンクしていないと言える。さらなる授業改善や教育課題の充実により、生徒自身が主体性をもって学びに向かう力を伸ばし、学校関係者評価生徒アンケート「学ぶことが楽しい」の項目の肯定的評価 80% 以上を目指す。
- (2) 学校関係者評価保護者アンケートの学習に関する項目の肯定的評価は 80% 前後であり、まあまあの数値ではあるが、昨年度よりは減ってはいるものの「分からない」という回答が 10% 以上ある。学校公開への来校の呼びかけの工夫や学年だより・ホームページにおける授業紹介を増やすことで、保護者の授業への興味・関心を高め、また、質問項目の見直しも視野に入れ、保護者アンケートの学習に関する項目の「分からない」という回答 10% 以下を目指す。
- (3) 指示されたことができる力だけではなく、自分で考え、判断し、説明や行動する力が求められている社会において、「キャリア・パスポート」は自己理解を深め、その力を育成するためのツールである。このことを生徒に意識させるだけではなく、保護者や地域にも周知することで、学校関係者評価生徒アンケート「キャリア・パスポート」に書いた目標を意識して行動している。」の項目の肯定的評価 70% 以上を目指す。

### 2 先生について

- (1) 学校関係者評価生徒アンケートの先生に関する項目の肯定的評価は「ていねいに指導している。」が 90.1%、「生徒の意欲を大切にしている。」が 83.9% と良好な結果であるのに対して、「先生たちは、相談しやすい。」は 72.3%（昨年度 71.1%）であり、教員からのアプローチは届いているが、生徒側からのアプローチにはまだ壁を感じるようである。学級活動や HIGASHI 絆タイムなどで生徒に十分に寄り添ってはいるが、さらに小さなことでも相談しやすい雰囲気構築し、生徒アンケート「先生たちは、相談しやすい。」の項目の肯定的評価 80% 以上を目指す。

### 3 指導の重点について

- (1) 学校関係者評価保護者アンケートの「本校は、保護者に指導の重点を伝えている。」の項目の肯定的評価は 77.2% である。しかし、「私は、今年度の学校の指導の重点を理解している。」は 57.9%（昨年度 54.1%）であり、50% は超えているもののあまり浸透していないのが現状である。次年度は、重点目標のキーワードを分かりやすくしたり、ホームページ掲載も工夫したりするなどして、指導の重点の理解の浸透を図り、肯定的評価 70% 以上を目指す。

### 4 その他

- (1) 学校関係者評価地域アンケートの「あいさつ」と「ボランティア」の 2 つの独自項目の「あまり思わない」という回答がともに 14.3% である。生徒アンケートの結果からは生徒は地域を大切に思っていることが読み取れるので、その思いを少しずつ行動に移せるように生徒の心を醸成していく。